

第203回 全経簿記検定試験 上級 一 会計学一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [予想配点：正誤欄各②点、理由欄(×の場合のみ)各④点、合計 40 点]

	正誤	理 由
1.	○	
2.	×	減価償却累計額を控除する形式は、 <u>科目間接控除方式を原則とし、直接控除・注記方式および一括間接控除方式は例外</u> である。
3.	×	過去に入手可能な情報に基づく最善の見積りを行わなかったために、引当金残高が存在する場合、 <u>過去の誤謬の訂正</u> に該当し、修正再表示を行う。
4.	○	
5.	×	未認識数理計算上の差異のうち当期に費用処理された部分については、その他の包括利益から当期純利益への <u>組替調整</u> が行われる。
6.	○	
7.	○	
8.	×	当該研究開発費等が <u>識別可能資産に該当</u> する場合、企業結合日において <u>資産計上</u> する。
9.	×	洗い替え方式ではなく、 <u>切り放し方式</u> に基づき、時価をもって貸借対照表価額とする。
10.	○	

